

道路橋定期点検業務委託  
(二巡目点検)

( 概 要 版 )

令和元年 7月

△ △ 市  
市町村橋梁等長寿命化連絡協議会  
株式会社 ◆ ◆ コンサルタント

## 1. 業務概要

### (1) 業務の目的

本業務は、△△市が管理する橋梁について橋梁点検を実施し、劣化・損傷状況を把握することにより、耐荷力と耐久性の診断と適正な維持管理を行うための資料を得ることを目的とする。

### (2) 業務概要

1) 業務名：道路橋定期点検業務委託（二巡目点検）

2) 業務箇所：△△市全域 40橋

3) 工期：自 令和〇年 〇月〇〇日  
至 令和〇年 〇月〇〇日

4) 発注者：△△市

5) 受注者：市町村橋梁等長寿命化連絡協議会

6) 点検会社：株式会社◆◆コンサルタント  
秋田県秋田市□□□…  
TEL：  
FAX：  
管理技術者：  
照査技術者：

## 2. 橋梁点検数量

### (1) 橋梁点検数量

点検方法	令和〇〇 △△市	
	橋梁数	面積(m <sup>2</sup> )
点検車	5	2500.00
地上+梯子	35	2000.00
合計	40	4500.00

### (2) 点検実施橋梁の現状

本業務で実施した橋梁点検における40橋の橋梁種別は、鋼橋が6橋、コンクリート橋が34橋であった。

種別	橋梁数	内訳			
		15m未満	15m~50m	50m~100m	100m以上
鋼橋	6	3	2	1	
コンクリート橋	RC橋	7	7		
	PC橋	27	25	2	
混合橋	0				
ボックスカルバート	0				
合計	40	35	4	1	0

## 3. 橋梁の健全度

### (1) 道路橋定期点検損傷度評価

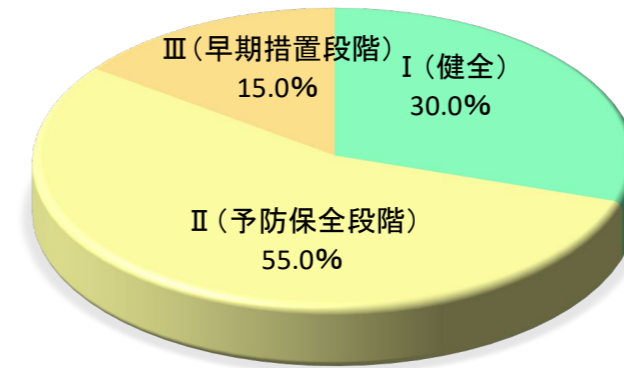
前回調査（H26）に比し評価が悪化した橋梁数は〇橋（△%）であった。

損傷区分 市町村	I (健全)	II (予防保全段階)	III (早期措置段階)	IV (緊急措置段階)	橋梁数 (橋)
△△市	12 30.0%	22 55.0%	6 15.0%	0 0.0%	40

### (2) 橋梁健全度

点検を実施した40橋の橋梁健全度は、健全度区分Iが30%（12橋）で健全度区分IIが55%（22橋）で健全度区分IIIが15%（6橋）であった。

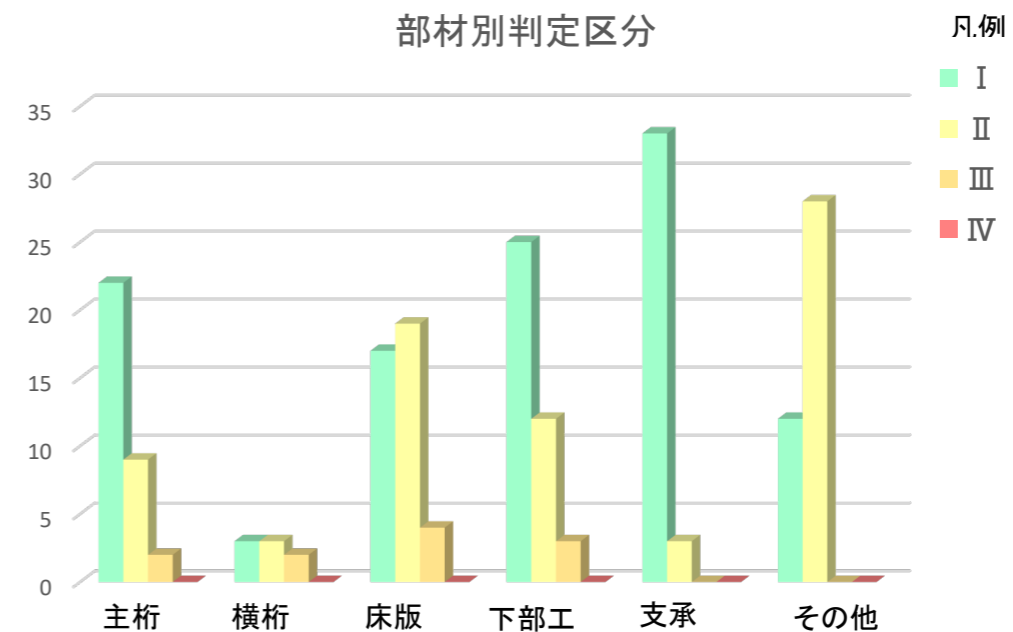
橋梁健全度



### (3) 部材毎の判定区分状況

点検を実施した40橋について、部材毎における判定区分の集計を以下に示す。

部材別判定区分



(4) 特に着目すべき橋梁の損傷状況

橋梁名	■■■橋												
													
													
													
	<table border="1"> <tr> <td>部材名称</td> <td>主桁、横桁、床版、下部工</td> </tr> <tr> <td>判定区分</td> <td>III</td> </tr> <tr> <td>変状の種類</td> <td>腐食</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">メモ</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主桁横桁は広範囲に腐食しており、一部横桁は朽ちている。 床版は木床版で一部欠損がみられる。 下部工に洗掘がみられる。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">※現地踏査後に交通規制を実施</td> </tr> </table>	部材名称	主桁、横桁、床版、下部工	判定区分	III	変状の種類	腐食	メモ		主桁横桁は広範囲に腐食しており、一部横桁は朽ちている。 床版は木床版で一部欠損がみられる。 下部工に洗掘がみられる。		※現地踏査後に交通規制を実施	
部材名称	主桁、横桁、床版、下部工												
判定区分	III												
変状の種類	腐食												
メモ													
主桁横桁は広範囲に腐食しており、一部横桁は朽ちている。 床版は木床版で一部欠損がみられる。 下部工に洗掘がみられる。													
※現地踏査後に交通規制を実施													

橋梁名	■■■■橋										
											
	<table border="1"> <tr> <td>部材名称</td> <td>床版</td> </tr> <tr> <td>判定区分</td> <td>III</td> </tr> <tr> <td>変状の種類</td> <td>剥離・鉄筋露出</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">メモ</td> </tr> <tr> <td colspan="2">床版に剥離・鉄筋露出がみられ、鉄筋は腐食している。また地覆側にひびわれに伴う遊離石灰が広範囲にみられる。</td> </tr> </table> 	部材名称	床版	判定区分	III	変状の種類	剥離・鉄筋露出	メモ		床版に剥離・鉄筋露出がみられ、鉄筋は腐食している。また地覆側にひびわれに伴う遊離石灰が広範囲にみられる。	
部材名称	床版										
判定区分	III										
変状の種類	剥離・鉄筋露出										
メモ											
床版に剥離・鉄筋露出がみられ、鉄筋は腐食している。また地覆側にひびわれに伴う遊離石灰が広範囲にみられる。											

橋梁名	■■号橋										
											
	<table border="1"> <tr> <td>部材名称</td> <td>床版</td> </tr> <tr> <td>判定区分</td> <td>III</td> </tr> <tr> <td>変状の種類</td> <td>剥離・鉄筋露出</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">メモ</td> </tr> <tr> <td colspan="2">コンクリート床版において広範囲に剥離・鉄筋露出がみられる。</td> </tr> </table>	部材名称	床版	判定区分	III	変状の種類	剥離・鉄筋露出	メモ		コンクリート床版において広範囲に剥離・鉄筋露出がみられる。	
部材名称	床版										
判定区分	III										
変状の種類	剥離・鉄筋露出										
メモ											
コンクリート床版において広範囲に剥離・鉄筋露出がみられる。											

ROO △△市橋梁点検総括表

※前回よりも評価が落ちたものは赤文字  
 ※補修で評価が良くなったものは青文字

番号	橋梁名	路線名	全景写真	供用開始年	橋長	総径間数	全幅員	橋梁の種類	調査年	橋梁健全度	各部材毎の判定区分						損傷写真	考察
											主桁	横桁	床版	下部構造	支承部	その他		
1	■■■■橋	■■■■線	 <p>写真は全て今回点検時のものを挿</p>	1974	71.4	3	21.2	単純鋼合成H桁橋	H26	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	判定の根拠になっているものは黒文字で				 <p>写真は全て今回評価に影響したものを挿</p>	早急に詳細調査を実施する必要がある。
									R 1	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ		
2	■■■■橋	■■■■線		1962	7.5	1	4.8	RC単純床版橋	H26	Ⅱ	対象無し	対象無し	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ		早急に詳細調査を実施する必要がある。
										Ⅲ	対象無し	対象無し	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ			
3	■■■■橋	■■■■線		1962	7.5	1	4.8	RC単純床版橋		Ⅲ	対象無し	対象無し						健全である。
									R 1	Ⅰ	対象無し	対象無し	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ		
4	■■■■橋	■■■■線		1969	9	1	3	鋼I桁	H26	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ		経過観察とし、変状進展時に詳細調査を実施する必要がある。
								単純鋼H桁橋	R 1	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ		
5	■■■■橋	■■■■線		1969	7	1	1.9	単純鋼H桁橋	H26	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	対象無し	Ⅱ		早急に詳細調査を実施する必要がある。
									R 1	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	対象無し		
6	■■■■橋	■■■■線		1968	11.5	1	6.9	単純PCプレテン床版橋	H26	Ⅲ	Ⅱ	対象無し	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ		H27床版部分補修経過観察とし、変状進展時に詳細調査を実施する必要がある。
										Ⅱ	Ⅱ	対象無し	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ			

写真は全て今回点検時のものを挿

写真は全て今回評価に影響したものを挿

全体評価が悪くなったものは赤字で記

評価が悪化したものは赤字で記入

着色は点検報告書作成要領と

前回(H26)の評価は全て黒文字で記入する



前回は間違っていたも

全体評価が良くなったものは青文字で

補修で評価が良くなったものは青文字で

ROO △△市橋梁点検総括表

※前回よりも評価が落ちたものは赤文字  
 ※補修で評価が良くなったものは青文字

番号	橋梁名	路線名	全景写真	供用開始年	橋長	総径間数	全幅員	橋梁の種類	調査年	橋梁健全度	各部材毎の判定区分						損傷写真	考察
											主桁	横桁	床版	下部構造	支承部	その他		
7	■■■■橋	■■■■線		1960	9.9	1	3.5	単純PCプレテン床版橋	青字で記									経過観察とし、変状進展時に詳細調査を実施する必要がある。
									今回は初回点検の場合はこの欄に記入は不要									